

昼食の七草がゆをお皿に入れるスタッフ。デイサービスセンターひなたぼっこ



伝統の味懐かしむ

1年の健康を願う「七草がゆ」が7日、三田市相生町の「デイサービスセンターひなたぼっこ」で振る舞われた。利用するお年寄り23人が、日本の伝統の味を懐かしんだ。

七草はセリとナスナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ。七草が入ったおかゆを食べると邪気を払ったたり、正月に食べ過ぎた胃を休めたりするとされる。

同センターの昼食は全て手作

相生のデイサービス 七草がゆ振る舞う

りで、七草がゆは毎年直径約40センチの大鍋で調理している。鮮やかな緑の散ったとろとろのかゆがおわんによそわれ、鶏肉の梅焼きやホウレンソウのごまあえなどとともに配膳。お年寄りはちほ円卓を囲み、おいしそうに頬張った。

東本庄から通う酒井由紀美さん(80)は昔、自身の畑で七草を摘んで毎年つくっていたといい「6年ぶりで懐かしい」と目尻を下げた。

(山脇末菜美)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 1年の健康を願う「七草がゆ」を食べるのはいつですか？

③ 七草をカタカナで書きましょう。

② 七草が入ったおかゆを食べると、どうだと書いてありますか。○を2つ付けましょう。

- () 邪気を払う () 幸せにくらせる
- () お金がもうかる () 100点がとれる
- () 正月に食べ過ぎた胃を休める

なまえ【 】